一般質問（要旨）

青空に泳いで

消費増税で市民のくらしや商店の営業について問う

日本共産党昭島市議団　荒井　啓行　議員

質問　市民のくらしや商店の営業について、①市内の事業所に実施した消費税率の引上げに関する経営状況等のアンケート結果を、どのように生かすのか。②市内のプレミアム付商品券の購入率が29％と低いが、他市の状況は。また、落丁の問題があったが、それ以降落丁はなかったのか。

答弁　①緊急対策事業資金融資あっせん制度の周知を図るとともに、国や都の動向を注視し、市内事業者の支援に努める。②近隣市も同様の状況である。また、それ以降落丁の報告はない。

質問　全世代型社会保障改革は、少子高齢化の中で必要な労働力を確保し、社会保障の削減、市場化を促す大企業中心の成長戦略と考える。①市の施策への影響は。②市民生活への影響は。

答弁　①政府の検討会議の中間報告から、市の施策に大きく影響を与えるものではないと受け止めるが、今後の検討に注視していく。②在職老齢年金制度の見直しなど好影響を与えるものもあるが、後期高齢者医療制度の窓口負担の見直しの検討等も示されている。

質問　東中神駅周辺のまちづくりについて、①東中神駅南口のスーパーマーケットが閉店したが、空き店舗の活用等を協議する場を設けては。②南北を通るアンダーパスの工事の事業期間は。③東中神駅構内に、エスカレーターの設置を。

答弁　①解体が予定されているため、UR都市機構の考えを尊重したいと考える。②アンダーパスの完成は令和3年度までとしているが、期間内の完成は困難と認識している。③JR東日本八王子支社への要請行動の中で、要望していく。

子ども若者を応援し、一人一人を大切に

みらいネットワーク　篠原　有加　議員

質問　様々な計画に、市民の声を反映させる取り組みについて、①無作為抽出による市民討議の検討やフューチャーデザインを導入すべきと考えるが、所見は。②子ども議会や若者議会などで、市の未来を担っていく子ども若者の意見を聴取していくことが必要と考えるが、予定は。

答弁　①ワークショップや市民懇談会などで市民の意見を聞くとともに、人材育成の視点を持ちながら、次期総合基本計画策定に取り組んでいる。②どういった対応ができるのかも含め、検討していきたい。

質問　子ども若者実態調査や相談窓口の設置について、①実態調査で見えてくる部分があると考えるが、行う考えは。②悩んでいる子ども若者に市の相談窓口を示せることが重要と考えるが、所見は。

答弁　①独自調査の予定はないが、国や都の調査結果を踏まえながら、他市の動向等を注視していく。②専門的な相談窓口はないが、若者サポートステーション等の情報提供をするとともに、全ての若者が能力を生かし、自立、活躍できるよう支援していく。

質問　市は、いじめで重大事態が起こった時に第三者機関を立ち上げるとしている。子どもオンブズパーソンや子どもの権利擁護窓口などについて、平時でも相談できるよう設置すべきと考えるが、所見は。

答弁　各校の学校いじめ対策委員会で、早期発見、早期対応を図っているが、重大案件があれば、市としてすぐにいじめ問題対策委員会を設置する。新たな相談窓口については、今後、研究していきたいと考えている。

市民の命と財産を守る役割を横田基地問題を問う

日本共産党昭島市議団　奥村　博　議員

質問　横田基地において、新たな場周経路での訓練や飛行高度の違反など、飛行実態に関する問題がある。①日米政府間での合意事項の遵守を求めるべき。②騒音コンター外での騒音が激しくなっている。国の交付金で固定騒音測定器をKOTORIホールと拝島第三小学校に設置すべき。③国にCV―22オスプレイの目視調査再開の働き掛けを。

答弁　①米国からは合意事項及び規則を遵守していると聞いている。市としても、徹底した安全対策や周辺環境への配慮を求めている。②国において必要な対策を図るべきと考えており、測定場所の増設など、要請を行っている。③国に目視等による迅速かつ正確な情報提供を要請している。

質問　美堀町二・三丁目の住環境問題について、①国有地の活用は、市が主体となり、まちづくりの視点を持って検討すべきであり、専門家を結集してワーキンググループを立ち上げては。②地域団体との話し合いの場を設ける考えは。

答弁　①ワーキンググループを設置する考えはないが、色々な方向から考えながら、まちづくりを進めていきたい。②これまでも各団体から意見を聞きながら対応を図っている。

質問　水質汚染問題について、他市の横田基地周辺の井戸から、健康への有害性が指摘される有機フッ素化合物のPFOS・PFOAが高濃度で検出されたことが公表された。昭島市では水道水の水質検査を公表したが、飲用井戸の実態調査もすべき。

答弁　井戸所有者に対し、都の指導要綱に基づく水質基準等の情報や検査に関する周知、啓発を図っている。

昭島で子どもたちの豊かな育ちを築こう

みらいネットワーク　林　まい子　議員

質問　保育園と市の連携について、①市への予算要望に保育園長会未加入の園は含まれていないのか。②園長会を市と双方向で施策を考える場にできないのか。

答弁　①要望があった場合、適切に対応していきたい。②どのような対応が図れるか、今後検討していきたい。

質問　保育の質の確保のため、国や都の基準を上回る分については、保育園への独自の補助等を行っているが、対象の保育園が増えた場合でも継続するのか。

答弁　継続して対応できるものと考えている。

質問　子どもの権利について、条約の普及、推進に向けた取り組みは。また、条例を制定する考えは。

答弁　条例制定は考えていないが、広く市民へ理念の普及、啓発に努める中で、どのような対応が可能か、多角的に検討していきたい。

質問　保育園の園外保育について、①人員は足りているのか。②公園等のアダプト制度を活用した地域との交流は、地域で子育てをしようという機運醸成につながると考えるが、所見は。

答弁　①基準に達しており、足りていると認識している。②様々なアダプト団体があることから、今後研究していきたいと考えている。

質問　多様なニーズに対応できるよう、民間との連携も視野に入れ、病児保育サービスの選択肢の拡充を。

答弁　まずは事業の安定的な運営に注力していきたい。

質問　保育士の人件費率の確認を行っているのか。また、市の支援は。

答弁　いずれの施設においても人件費の占める割合は高い状況にあると認識しており、市単独での運営費の加算を実施している。

討論

本会議での採決に先立ち、討論が行われました。

令和2年度当初予算を可決とする委員長報告について

一般会計

反対　日本共産党昭島市議団　荒井　啓行　議員

新型コロナウイルスの感染拡大により景気が低迷する中、市民生活や企業の生産活動を応援するため、消費税を5％に戻すように求めるべきと考える。

また、正規職員を会計年度任用職員に置き換えることは人件費削減の行財政改革であり、多くの課題が明らかにされていない。

横田基地に配備されたCV―22オスプレイについては、「国防は国の専管事項であり、判断できない」とする市長の見解は許せず、配備撤回や基地をなくす方策を考えるべきである。

以上を指摘し、本予算に反対する。

賛成　自由民主党昭島市議団　髙橋　誠　議員

厳しい財政状況が続く中、防災・減災施策としては、防災行政無線デジタル化事業に係る経費などを、環境施策としては、市内の駅前に給水スポットを設置する経費などを計上している。

予算全体を見ると、歳入では特定財源の確保が図られ、市債と基金のバランスに配意がなされている。歳出では必要な分野に適切な予算を計上する将来を見据えた予算となっており、大変評価すべきものである。

新型コロナウイルス感染症など突発する災害に積極的に対応し、効率的・効果的な市政運営に努めることを願い、本予算に賛成する。

賛成　公明党昭島市議団　吉野　智之　議員

本予算には、認知症検診事業、母子の視点を取り入れた液体ミルクの備蓄、0歳児を対象としたロタウイルスワクチンの定期接種、デジタル教科書整備事業、市内4駅へのマイボトル用給水機の設置、Aバスの運行ルートの増設、二市連携結婚活動支援事業など、その趣旨に賛同する事業が多数含まれている。

一方、市の東部地域の図書館機能やプラスチックご

6面下段へ続く